

教授要目: 2013 年度	鉄筋コンクリート構造 : Reinforced Concrete
2年2単位 選択必修科目 担当教員: 吉川弘道	
<p>【科目概要・到達目標】 [科目群 専門科目/学科共通] : 鉄筋コンクリートは、鋼材とコンクリートによる複合材料で、鉄道/道路などの都市施設、建築建屋の主要構造材料である。本科目では、<u>構造力学</u>のリハビリから始まり、<u>曲げモーメント</u>や<u>せん断力</u>を受ける部材の耐荷機構を学習する。RC構造物に対する<u>性能設計法</u>と<u>耐震設計</u>など設計手法にも触れる。 学習・教育目標の6), 7), 9)に対応する科目。 [到達目標] ・構造力学の基本事項、・曲げモーメントとせん断力を受ける部材の耐荷機構、・RC構造物の設計法</p>	
<p>【成績評価】 授業 : 課題の提出 (5回程度) , 出席確認 (随時) . 評価 : 提出課題 (20点) + 中間テスト (20点×2回) + 期末テスト (40点) = 100点</p>	
<p>【履修心得】 1.毎回の授業に必ず出席 : 予習より復習が大切 : 教科書を熟読 2.課題の提出を怠りなく : 出題の意図を理解 3.工学部学生の必携品 : 教科書、電卓、ノート、定規 4.授業中に回覧する模型と試験体をよく観察せよ : 触れて/押して/叩いて、理解する。</p>	
<p>【授業計画】 2013 年度 22C 教室</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 9/20: ガイダンス 2. 9/27: 鉄筋コンクリートの特徴と種類 3. 10/04: 材料力学の復習 : 応力, ひずみ, 弾性係数 4. 10/11: 使用材料の力学 : コンクリート, 鉄筋 5. 10/18: 中間テスト#1 6. 10/25: RC 梁部材の非線形挙動 7. 11/01: 曲げを受ける部材の耐荷機構 8. 11/08: 曲げを受ける部材の終局耐力/演習問題 9. 11/15: 曲げを受ける部材の終局耐力/実験演習 10. 11/29: スライドで見るコンクリート構造物 11. 12/06: 中間テスト#2 12. 12/13: せん断力を受ける部材の耐荷機構 13. 12/20: せん断力を受ける部材の終局耐力 14. 1/10: RC構造の地震被害 : 事例に学ぶ 15. 1/17: RC構造の性能設計と耐震設計 <p>試験期間中 : 授業期末試験 (授業中に実施した内容)</p>	
<p>【教科書】 : 鉄筋コンクリートの設計 (紅白の教科書) : 丸善出版</p>	
<p>【参考書】 : 構造力学、コンクリート工学、実験演習の資料/教科書を随時参照すること。</p>	
<p>【e-mail address】 : hyoshika@tcu.ac.jp</p>	
<p>【学生へのメッセージ】 本科目にて、‘苦戦した構造力学’のリハビリを行い、力学分野での再浮上を期待する。 ・『耐震設計と地震リスク』 : http://www.srm-bcp.com/ ・『もっと知りたいコンクリート講座』 http://c-pc8.civil.musashi-tech.ac.jp/RC/ ・『土木ウォッチング』</p>	
<p>【オフィスアワー】 金曜日 : 4 時限 (この曜日以外も OK です)</p>	